

第6学年 国語科学習指導案

平成29年9月25日(月) 3校時

1. 単元名 意見を聞き合って考えを深め、意見文を書こう 「未来がよりよくあるために」

2. 単元の目標

○未来がよりよくあるためにどうすればいいのか、友達の考えも聞いて考え、自分の考えを書こうとしている。 (国語への関心・意欲・態度)

○互いの立場や意図をはっきりさせ、計画的に話し合うことができる。 (話す能力・聞く能力)

○自分の考えを明確に伝えるために、構成を工夫して、説得力のある文章を書くことができる。 (書く能力)

○書き言葉と話し言葉の違いに気をつけながら意見文を書くことができる。

(言語についての知識・理解・技能)

3. 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	言語についての知識・理解・技能
未来がよりよくあるためにどうすればいいのか、友達の考えも聞いて考え、自分の考えを書こうとしている。	互いの立場や意図をはっきりさせながら、質問や助言を入れて、計画的に話し合っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集のため、図書館やインターネットなどで資料を調べ、必要な文章を要約・引用して用いている。 ・自分の意見とは異なる立場に立つ他者の存在を意識し、構成を工夫して書いている。 ・注釈や引用などを用いて、自分の意見が説得力をもつように書いている。 	書き言葉と話し言葉の違いに気をつけながら意見文を書いている。

4. 基盤

(1)教材について

学習指導要領において、高学年の国語科では、「話すこと・聞くこと」で「互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと」が求められている。また、「書くこと」では、「目的や意図に応じて書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理すること」「自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること」が求められている。そして、言語活動例として、「自分の課題について調べ、意見を記述した文章などを書いたり編集したりすること」が示されている。

本単元「未来がよりよくあるために」は、調べて考えたことを交流し合い、質問や助言をすることで互いの考えを深めることや、自分の立場を明確にしなが異なる立場に立つ他者を意識し、構成を工夫して説得力のある文章を書くことをねらいとしている。

(2)指導にあたって

本単元では、特に次の2つの点について力を入れ、検証をしていきたい。

1. 学習意欲が高まる、導入の工夫・・・複数の社会的事象から自分で調べたいテーマを設定
2. 「情報の分類・整理・選択」段階における学習活動の工夫・・・情報カードの活用、ペア活動

第一次では、自分でテーマを決めて、意見文を書くという単元全体の見通しを持つ。単元全体の流れを表で確認したり、教科書の意見文を読んだりすることによって、学習活動のゴールをイメージできるようにする。

第二次では、自分の書きたい意見を持つとともに、意見を支える情報を集める活動を行い、意見文を書く準備をする。まず、ニュースなどで見た社会的事象を出し合い、その中から、一人一人が「こんな未来であってほしい」という願いと、「戦争を防ぐ方法」「環境保護団体の活動」など、詳しく調べたい課題を決める。自分でテーマを決めることによって、児童の学習意欲を高めていきたい。テーマ決めでは、イメージマップを使用する。社会問題および未来に対する願い、そう思ったきっかけなどについて

自分なりに書き出してイメージを広げるとともに、その中から実際に意見文に書きたいことを選ぶことができるようにする。

次に、自分の意見の根拠となる情報を、図書やインターネットから調べる。児童が情報をたくさん集められるよう、学校司書と協力して図書資料を準備する。児童は集めたたくさんの情報の中から、自分の意見を支えるために最も伝えたい情報を選択する。その際、選んだ情報が自分の意見に合っているかどうか、他にはどの資料を選ぶとよいかについて、ペアで話し合いを行う。その後、グループ活動を行い、互いの意見と根拠を伝え合う。グループ活動では、質問や助言だけでなく、意見に対する反論を行う。反論を受けることによって、それを乗り越えるような自分の考えを持つことができる。そうやってまとまった自分の考えは、意見文に書くことによって、より説得力を高めることができる。そうやってまとまった自分の考えは、意見文に書くことによって、より説得力を高めることができる。そうやってまとまった自分の考えは、意見文に書くことによって、より説得力を高めることができる。

第三次では、文章を書く活動を行う。まず、自分の意見や調べたこと、予想される反論と自分の考えなどが伝わるための文章の構成を考える。その後、意見文を書く。書いた意見文を互いに読み合いながら、分かりやすい事例や説得力のある書き方について、互いに肯定的に評価しあう。

本時では第二次の、調べた情報から意見文に最も書きたいものを選択する学習活動を行う。児童は集めた情報カードから自分の意見を最も支えるために使えそうな情報を2つ選ぶ。その後のペア活動では、自分の思いと、最も使用したい情報を伝え合う。その後、もう一つ選ぶとしたらどの情報を使うかをペアで考える。そうすることで、友達が持つ未来への願いを知るとともに、自分の意見の根拠となる情報を、自信を持って決めることができるようにする。さらに、自分が前もって選んでいた2つ目の情報と、友達と一緒に考えた情報とを比較し、どちらがより説得力を増す情報となるか考えられるようにしたい。次時にはグループでの意見交流を行う。本時のペアでの活動を通して、グループでも自信を持って話せるようにしたい。

5. 単元指導計画（全12時間）

次	時	学習活動	主な支援	関	話	書	言	評価規準（評価方法）
第一	1	○単元全体の学習課題を確認し、見直しを持つ。 ○教科書の意見文を読み、学習のゴールをイメージする。	<ul style="list-style-type: none"> 単元全体の流れが分かる表を提示する。 意見文の例の中から、工夫を見つけさせる。（図書資料の引用、反対意見に対する自分の考え。） 	○				意見文を書いたり話したりすることに意欲を持っている。（発言・ノート）
第二	2	○10年後の未来を想像し、よくするにはどうしたらいいか考える。 ○未来に対する願いと、そう思ったきっかけを書き出す。	<ul style="list-style-type: none"> 新聞などで話題になったことを発言させる。 イメージマップを用いて、自分の願いや調べたいことが明確になるようにする。 			○		未来に対する自分の願いやきっかけ、調べたいことなどを、様々な視点から考え、書いている。（ノート）
	3 4 5	○自分の意見の根拠となる情報を、書籍やインターネットから調べる。（図書館の活用）	<ul style="list-style-type: none"> 図書資料については司書教諭や学校司書と連携し、学校図書館以外からも集める。 			○		自分の意見を支えるのに効果的な資料を選択している。（情報カード、ノート）
	6 本時	○集めた情報から、最も自分が意見文に書きたい情報を選択する。	<ul style="list-style-type: none"> ペア学習によって、自分の意見と根拠となる資料が合っているか確かめられるようにする。 			○		自分の意見の根拠となる情報を整理し、意見を最も支える情報を選んでいく。（情報カード）

	7	○互いの意見をグループで紹介し、より説得力の増す文章にするために、質問や助言、反論をし合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・司会進行については、進め方を示したものを提示し、円滑に進行できるようにする。 ・参考になった質問や意見を書き残せるよう、付箋を用意する。 		○		自分の意見とその理由を明確に述べるとともに、友だちの発表に対して質問や助言をし合って考えを深めている（話し合い観察・ノート）
第三次	8	○説得力のある意見文の構成を考え、構成メモを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋を活用し、構成表に整理することによって、意見文の組み立てができるようにする。 			○	「初め」「中」「終わり」の構成に従って、意見文の組み立てを考えている。（付箋・構成表）
	9 10 11	○意見文を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・意見文の例を読み、説得力のある表現の仕方について話し合う時間を設ける。 ・「初め」「中」「終わり」の構成で文章を書くように助言する。 			○ ○	<p>調べた情報、自分と異なる意見などを取り入れながら、構成を工夫して書いている。（意見文）</p> <p>話し言葉や書き言葉の違いに注意しながら意見文を書いている。（意見文）</p>
	12	○意見文を読み合い、感想を交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・意見文を読む観点を与え、互いに肯定的に評価できるようにする。 			○	互いの意見文を読み、分かりやすい事例や説得力を増す書き方の工夫を見つけている。（付箋）

6. 本時の学習（6／12時間）

(1)目標

集めた情報から、自分が意見文の中に最も書きたいことを選択することができる。

（書くこと）

(2)展開

	学習活動		○教師の支援	・にこサポの支援	★評価
導入 5分	○本時の学習課題を確認する。	全体	○選択する時の観点を伝えることで、児童が資料を選択しやすいようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を支えてくれる情報 ・味方になってくれる情報 ・これを使うと自分の言いたいことが伝わりやすくなる 	
	集めた情報のうち、意見文に一番書きたい情報を選ぼう。				

<p>展開 ① 12分</p>	<p>○自分の集めた情報を整理する。 ①集めた情報カードの中から、未来に対する自分の意見文に書きたい情報を2つ選ぶ。 (例) 平和な世の中にしたい ・「平和に貢献した偉人の言葉」 ・「国連の活動」 環境問題のない社会にしたい ・「環境保護団体の活動」 ・「ノーベル賞をとった人の演説」 いじめのない社会にしたい ・「いじめを防ぐための活動」 ・「いじめを経験した人の考え方」 ②選んだ2つのうち、最も書きたいことについて、選んだ理由をワークシートに書く。</p>	<p>個人</p>	<p>○未来に対する自分の願いを予め書いたワークシートを準備することで、情報選択の際も自分の願いをいつでも確認できるようにする。 ○活動の流れを板書することで、個人での活動がしやすいようにする。 ・活動内容を分かりやすく伝えるとともに、情報のまとめ方や優先順位のつけ方について助言をする。</p>
<p>展開 ② 10分</p>	<p>○ワークシートをもとに、ペアで意見を交流する。 ①未来に対する自分の意見を伝える。 ②最も書きたい情報と、それを選んだ理由を友達に話す。 ③他のカードを見ながら、根拠として使える2つ目の情報を考える。 「あなたが集めたこの情報を使って書いたらいいんじゃないかな。なぜなら・・・」 「ここにはないけど、○○についての情報を集めてきたほうがいいんじゃないかな。」 ○質問・助言されたことは、ワークシートに書いておく。</p>	<p>ペア</p>	<p>○意見と根拠とした情報を互いに伝え合うことで、根拠とした情報が意見と合っているかどうか判断できるようにする。さらに、もっと伝えた方がいい情報について考えることができるようにする。 ○話型を示したり、にこサポと劇をしながら例を示したりすることで、自分たちでペア学習が進められるようにする。 ・ペアで話すときは、意見と根拠の言い方を確認する。質問や助言があるかどうか、考えを引き出す。</p>
<p>展開 ③ 13分</p>	<p>○友達の助言を受けて、自分が使いたい情報を決定する。 ○選んだ理由をワークシートに書く。 「私はこの資料を選びました。理由は・・・」 「自分は○○さんの意見を聞いて、自分が決めていたのとは違う資料を使うことにしました。なぜなら・・・」</p>		<p>○選択・決定した根拠をワークシートに書くことで、どのような根拠で決定したのかが明確になるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>★自分の意見の根拠として最も書きたいものを選んでみる。【書】(情報カード、ワークシート)</p> </div></p>

ま と め 5 分	○学習を振り返り、発表する。 ・自分が言いたいこと ・最初に選んでいた情報 ・最終的に選んだ情報と、選んだ理由	全 体	○発表し合うことで、意見と根拠となる情報をどのよ うに選択したか、互いに理解できるようにする。
-----------------------	--	--------	--

(3) 本時の評価規準

評価の観点	◎十分満足できる	○おおむね満足できる	支援を必要とする場合の手立て
書くこと	集めた情報から、自分の意見を裏付ける資料を根拠をもって選択している。 友達の意見を聞き、より説得力が増す情報を提案することができる。	集めた情報から、自分の意見を裏付ける資料を根拠を持って選択することができる。	選択の視点を確認し、自分が言いたいことが伝わる情報は何かを考えるよう助言する。

(4) 視点

- ・資料を選択する視点を伝えたことは、児童が自分で情報を選択するために有効であったか。
- ・ペアでの意見交流は、自分の選択した資料が適切であったかを判断するために有効であったか。